

# ながおか・放課後子ども通信

令和4年7月15日発行(vol.4) 長岡市教育委員会 子ども未来部 子ども・子育て課 ☎0258(39)2393

## 地域連携の大切さ 「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に

希望が丘小学校 校長 丸田 俊一

長岡市でのコミュニティスクールが本格的にスタートしました。これまで以上に地域とのつながりを深め、社会に開かれた教育課程の編成及び実施が求められています。

希望が丘小学校は、「ふるさと学習プラン」を教育課程の中核に位置付けています。

4年生は、コミュニティセンターの活動の一つとして、地域の人が安心して暮らせるまちづくりに向けて取り組んでいることを学びます。そして、セーフティパトロール、民生委員、母子保健推進員等の皆様の仕事やその思いに触れていきます。子どもたちは、地域の人に支えられて育ってきた自分を意識することで、6年生でグローバルな視点から平和について考え、地域に発信していくことができるのです。

コミュニティセンターが果たす役割はますます大きくなっています。平成16年に長岡西中学校区で「すこやかな子どもを育てる会」が組織されました。「地域の子どもたちは地域で育てていく」を合言葉に、各コミュニティセンターを中心としながら、児童生徒の健全育成に向けて長岡警察署（希望が丘交番、深沢駐在所）等との連携を図っています。コミュニティセンターとの児童の情報共有は、児童の健やかな成長への生命線です。子どもたちの変化に気付く感性を高め、これからも希望が丘地域で育ってきたことの誇りや感謝を大切にできる子どもたちを育てていきたいと思えます。



【地域の方への感謝状贈呈】

## 学校との連携で子どもの健やかな成長を



【館長へ案内状進呈】

希望が丘児童クラブ 児童厚生員 渡邊 誠子

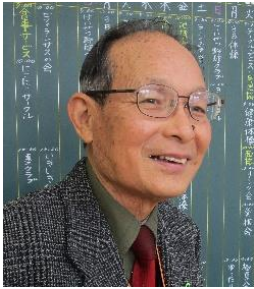
希望が丘は、小学校向かいのコミセン内に児童クラブがあり、情報共有しやすい環境です。学級担任の先生が、下校時、子どもたちを児童クラブに連れて来たときに、お互いに情報を共有したり、子どもたちの様子を見たりしていただくこともあります。

先日は、児童クラブでの子どものトラブルを学校と連携し解決することができました。学校の先生が、児童クラブでの子どものトラブルも学校で指導してくださり問題が解決したこともあり、さらに連携を深めています。また、子どもへの対応の仕方などを、具体的に教えていただき、とても助かっています。

学校と児童クラブ、双方ともに「気楽に声をかけ合いましょう」と『一緒に問題を解決していきましょう』という方向性を共有しています。今後「放課後子ども教室運営委員会」に私たち専任厚生員も参加し、子どもたちの様子を共有します。

地域の総力で子どもたちの健やかな成長を目指しています。

## 子どもたちの安全・安心な地域の居場所「児童館・児童クラブ」の運営



富曾亀コミュニティセンター長兼児童館長 小林 武夫

児童館・児童クラブは、親子共々、安全で安心して身を任せられる地域の居場所でありたいと思っています。そのために工夫している事例を紹介させていただきます。

まず、実施していることは、『**事務分掌の見える化**』です。コミセンの三本柱（生涯学習、福祉、健全育成）、児童館・児童クラブの位置付け等を、一覧表に整理することで職員に仕事内容や行事等の理解を深めてもらい、連携を促しています。

また、児童館・児童クラブに勤務する児童厚生員には、『**児童館長通信**』を発行しています。児童厚生員は、勤務日、勤務時間が異なり、意思疎通を図ることが難しくなります。そこで、共通理解したいこと、留意して欲しいこと、社会問題などのトピックスを取り上げ、適時配付しています。

加えて、私が意識していることは、『**学校（校長先生）との連携**』です。日頃から電話や直接会うなどして、情報共有をしています。入学前や6月頃には、厚生員と各学年の先生との情報交換会を行い、児童理解に努めています。富曾亀地区では、コミセンの講座や教室をはじめ、長岡まつり民踊流しなどの行事に、学校を介して子どもたちに参加を促してもらっています。とても素晴らしい地域の伝統だと感じています。

最近、**大学生を代行厚生員として受け入れ**ました。厚生員の年齢層が厚くなるとともに、子どもたちに寄り添う幅が広くなり、子どもたちの活動がより活気溢れるものになっています。そして、大学生も地域の先輩職員や子どもたちからたくさんのことを学んで、日々成長しているようです。

今後も、児童館・児童クラブの運営は、様々な課題が出てくるとは思いますが、変化に柔軟に対応しながら子どもたちの放課後の居場所を確保したいと思っています。



【子どもと遊ぶ大学生】

## 「黒条放課後子ども教室」の取組と現在、そして今後

黒条コミュニティセンター 主事 小川 栄一郎

現在の教室は6教室（感染防止のため1教室休講）文化、芸術、創造系で、まだ体育系はありません。しかし**子どもたちの多様性と創造性を育むチャンス**になるよう、応募の窓口を拡げるために従来の先着順から抽選に切り替えました。また、人気の応募数が多い教室は先生と相談して2クラス（低、高学年）に増設して対応しています。現在は「わくわく科学」「押し花」「将棋」「英語」「プログラミング」「お茶」の6教室を開設しています。



【押し花教室】



【お茶教室】

先生方の人柄が教室に反映されていて、とてもユニークです。子どもたちにとっても{家庭-学校-児童館-子ども教室-自由時間}それぞれの場で過ごす時間を、大切にしてもらいたいと思います。

今後は現在の教室の再アピールで応募数、授業数のアップ、地元コネクションを駆使して講師の**人材発掘**をして地域の**連携、活性化**ができれば良いと思います。元気に受講してくれる子どもたち、ありがとう！毎回、講義をしてくださる先生方、どうもありがとうございます！

そして、支えてくださる地域の皆様、ありがとうございます！

## 「親も育つ子育てセミナー・講演会」～「市子連」とコラボ！～



家庭教育講座『親も育つ子育てセミナー・講演会』を4月10日(日)リリックホールにて開催しました。この講演会は、「長岡市子ども会連絡協議会」の育成役員研修会を共催したもので、今年で4回目となります。今回は、思春期保健相談士であり開業助産師の酒井由美子様を講師にお迎えし、『失敗しても いいんだよ！子どもたちが安心して失敗できる環境を家庭と地域でつくり

たい！』と題してお話をしていただきました。酒井様はライフワークとして、小中学校で性教育や命の大切さ考える授業を年間100回以上行っておられます。そこで触れ合う子どもたちから感じることは「今の子どもたちは、傾向として、果敢に挑戦するより無難な道を選ぶようです。失敗がいやなのではないでしょうか？」「なぜそうなったのでしょうか？子どもを取り巻く環境のせいなのではないでしょうか？」と疑問を提示されました。そして、「子どもの成長に欠かせない自己肯定感を高めるには、親や周りの大人が『失敗しても いいんだよ！』というメッセージを出し続け、子どもたちが失敗を恐れず、安心して伸び伸びと躍動できる環境をつくってやるのが大切なのです！」と語られました。そして、「その環境がづくりに、子ども会の活動は絶好な場になるのでは」と、温かく激励をしていただきました。最後に「子どものよりよい成長のため、家庭・地域・学校がより一層連動していくことを心から願います」と期待を込めて講演を結ばれました。

## 「児童厚生員全体研修会（前期）」～子どもの心に寄り添う～

去る6月24日(金)に「児童厚生員全体研修会（前期）」開催されました。内容は「発達段階を踏まえた児童理解と一人一人に応じた支援の在り方」について、市教育センター指導主事籠宅さや子先生からお話をしていただきました。46名が参加し、満足度は5段階で「4」または「5」が100%と非常に高い評価となりました。



### 《受講者の声》

子ども一人一人の特性を理解しつつ、個々に応じた支援の仕方を考えていきたい。特に「あったか支援」というキーワードが心に残った。大人の言葉かけは大事で、責任は重大だと感じた。一人一人に温かい言葉をかけ、しっかり話を理解して行動を認めてあげ、良いところを見つけほめてあげることが大切だと感じた。

## 街頭育成活動の志をミライエ長岡の人材育成へつなぐ



令和3年度末で活動を終了した長岡市の「長岡地域青少年育成委員会」が、解散に当たり会員が納めてきた会費の残金（金三十二万四千六十円）を長岡市に寄付しました。

長年続けてきた街頭育成活動の想いととも、米百俵の精神に沿った形で、青少年の健全育成に活かすために、令和5年度に開館予定の「米百俵プレイス ミライエ長岡」の「まちなか図書館」の蔵書購入費用に役立ててほしいと磯田市長に伝えました。

## 活気に満ちた「与板みんな食堂」～地域に親しまれ＆喜ばれ～

\* 与板みんな食堂は、現在お弁当販売という形で活動をしています。

毎月100食程度を提供。子どもから高齢者まで、多世代の方からご利用いただき、大変喜ばれています。他地域からのボランティアの参加や夏休みには高校生ボランティアの参加もあり、活気づいた活動の場となっております。



### 与板みんな食堂

- ◇開催日：毎月第4金曜日 18：00～お弁当販売 ※事前申込が必要です
- ◇場所：本願寺新潟別院（与板町与板乙 4356）
- ◇料金：大人300円 中学生以下100円

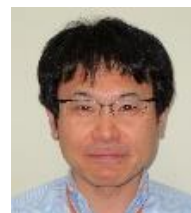
## 新任職員紹介① 子ども・子育て課長 深澤 寿幸

今年度、子ども・子育て課に着任した深澤と申します。

当課は、課名が示すとおり、母子保健や児童手当事業、更には青少年健全育成事業など、多様な子育て支援施策を担っています。

この1つとして、国の基本方針を踏まえ、子どもたちの放課後の安全・安心な居場所づくりと多様な学習・体験、交流機会の創出を図るため、「放課後児童クラブ」と「放課後子ども教室」の計画的な整備等を進めてきたところです。

現在、本市では「放課後児童クラブ」を52か所で「放課後子ども教室」を22小学校校区で「児童館」を39か所で開設しています。これらの安定的な運営には学校ほか関係各所との連携・情報共有が不可欠ですので、引き続き、関係者の皆様へご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。今後もよろしくようお願い申し上げます。



## 新任職員紹介② 子ども家庭センター所長 大久保 千春

12年ぶりに教育委員会に戻り、長岡で育つ子どもたちの幸せを願う空気をひしひしと感じています。

当センターは、就学前の子どもの発達相談・支援や、家庭児童相談、子どもの虐待防止などを担当しております。さいわいプラザ6階の一角、靴を脱いで入るこのエリアに、保育士、相談員、保健師、心理士など30人ほどのスタッフがおります。今年度はヤングケアラーについての周知・啓発や、発達に特色のあるお子さんの子育て真っ最中の保護者の皆さんの支援などに力を入れていきたいと考えています。

